

Let's enjoy !

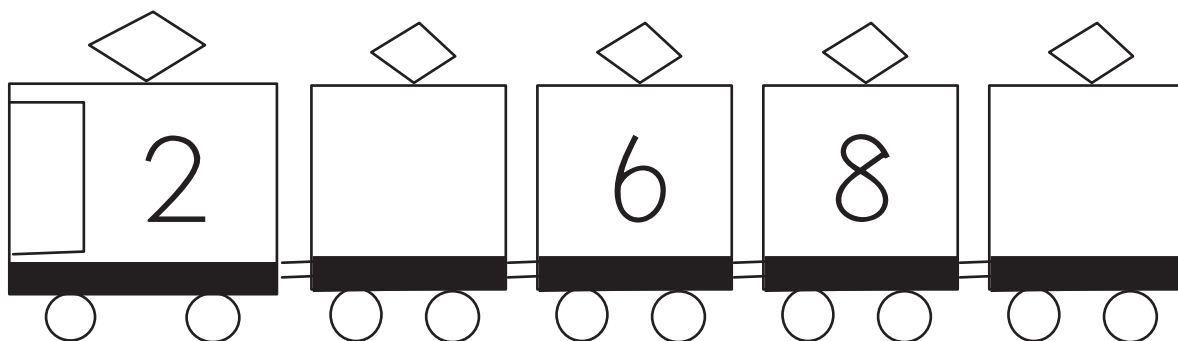


モマン 3-1

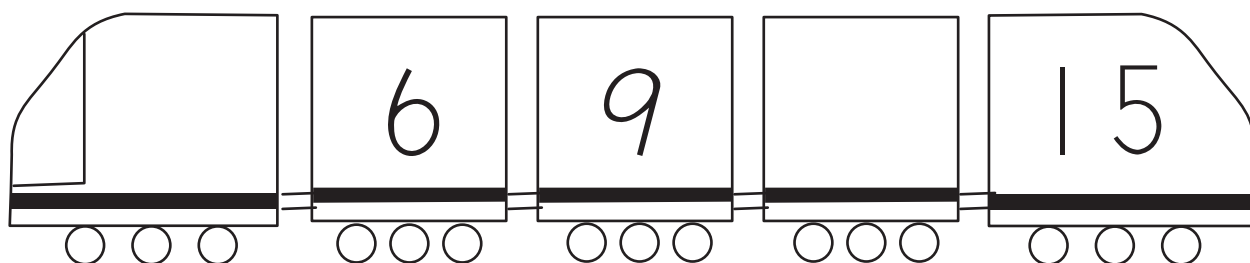
なまえ

あいているところに すうじをかきましょう。

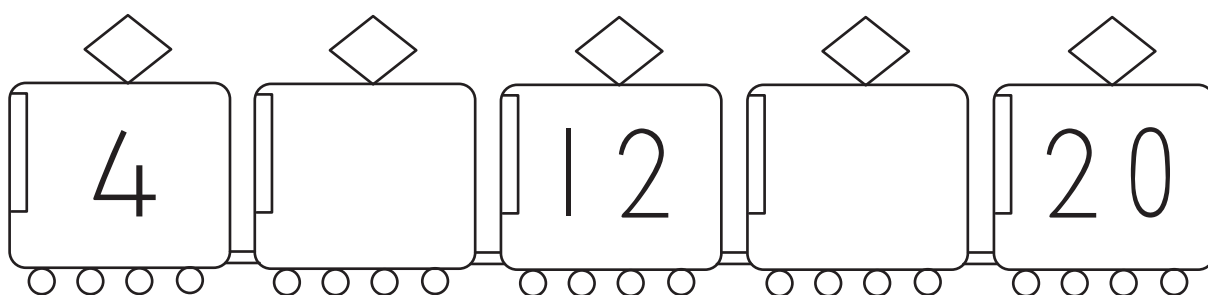
【2とび】



【3とび】



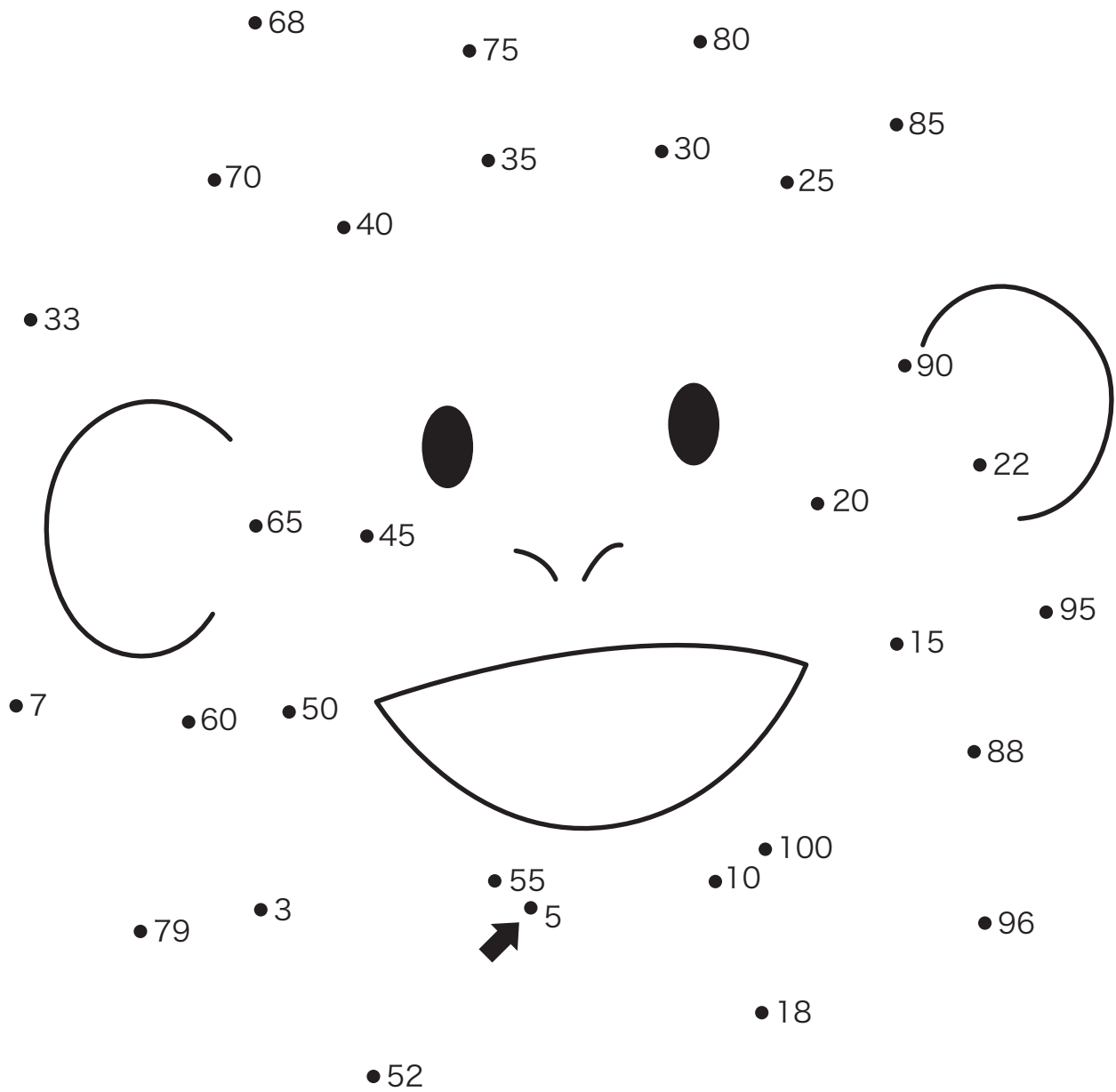
【4とび】



モマン 3-2

なまえ

5から100まで、5とびにせんでむすびましょう。



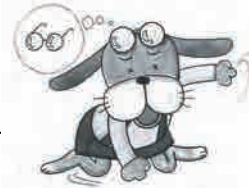
モマン 3-3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

とう だい
灯台

もと くら
下暗し



わた
渡りに

ふね
船



とら い か
虎の威を借る

きつね
狐



とく と
得を取るより

な と
名を取れ



どんぐりの

せい
背くらべ



モマン 3-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

とく と
得を取るより

せい
背くらべ



とう だい
灯台

な と
名を取れ



とら い か
虎の威を借る

もと くら
下暗し



どんぐりの

ふね
船



わた
渡りに

きつね
狐



モマン 3-5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

とう だい もと くら
灯台下暗し

ちか
近すぎるとわからないこと
もあるね



わた ふね
渡りに船

ちょうどよかった!



とら い か
虎の威を借る
ぎつね
狐

ほん どう ちから
本当は力なんてないのに



とく と
得を取るより
な と
名を取れ

めい よ たい せつ
名誉を大切に



どんぐりの
せい
背くらべ

みんな おな
みんな同じだなあ



モマン 3-6

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

わた 渡りに船^{ふね}

どれもこれも平凡^{へいほん}で差^さがないこと



どんぐりの背^{せい}くらべ

身近^{みちか}なことはかえってわかりにくいものだ



とう だい もと くら 灯台下暗し

利益^{りえき}よりも名誉^{めいよ}を大切^{たいせつ}にせよ



とら 虎の威^いを借^かる
きつね 狐

何か^{なに}しようとするときに、都合^{つごう}のよいことが起^おこること



とく 得^とを取るより
な 名^とを取れ

有力^{ゆうりよくしゃ}者の力^{ちから}に頼^{たよ}っていばるつまらない人^{ひと}のこと



モマン 3-7

なまえ

□に すうじをかきましょう。

1 + □ = 3

□ + 3 = 3

2 + □ = 3

2 + □ = 5

□ + 4 = 5

0 + □ = 5

モマン 3-8

なまえ

□にすうじをかきましょう。

6 strawberries (2 groups of 3) above boxes [] and [1]. Lines connect to box [7]. 7 strawberries (2 groups of 3 and 1) below.

6 pencils (2 groups of 3) above boxes [3] and []. Lines connect to box [7]. 7 pencils (2 groups of 3 and 1) below.

6 gloves (2 groups of 3) above boxes [2] and []. Lines connect to box [7]. 7 gloves (2 groups of 3 and 1) below.

8 mushrooms (2 groups of 4) above boxes [4] and []. Lines connect to box [10]. 10 mushrooms (2 groups of 5) below.

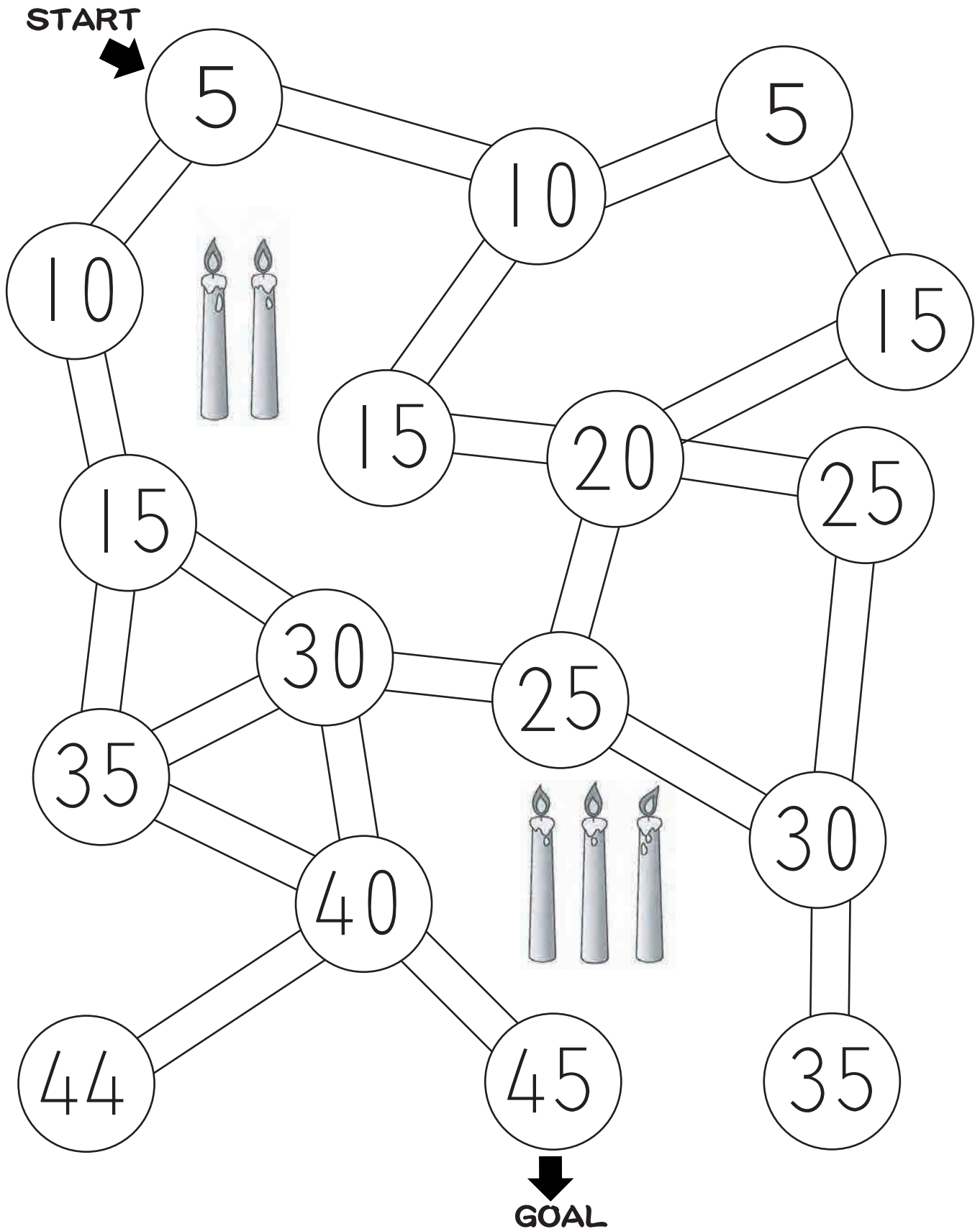
10 donuts (2 groups of 5) above boxes [] and [5]. Lines connect to box [10]. 10 donuts (2 groups of 5) below.

10 spoons (2 groups of 5) above boxes [] and [2]. Lines connect to box [10]. 10 spoons (2 groups of 5) below.

モマン 3-9

なまえ

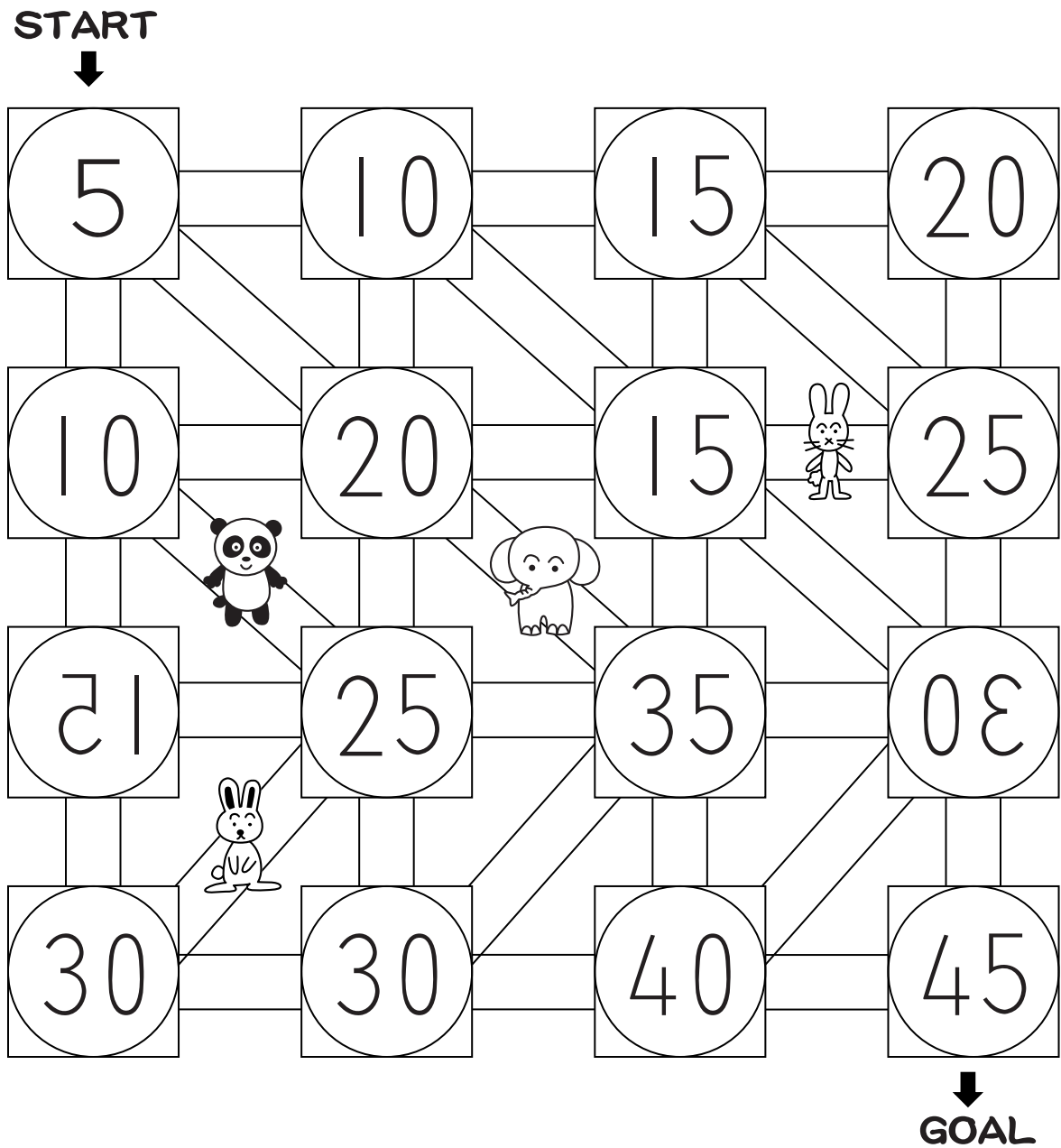
5とびで、GOAL までいきましょう。



モマン 3 - 10

なまえ

ただしい数字^{すうじ}をむすんで、5とびで GOAL までいきましょう。



モマン 3-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

あか つばき
赤い椿

しろ つばき
白い椿と
お
落ちにけり



よく^み見れば

な^{はな}な^さ花咲く
か^{かき}ね
垣根かな



あれ^{うめ}梅と

い^まう^ま間に曲がる
こ^こぶ^ぶね
小舟かな



モマン 3-12

なまえ

せん
線でむすびましょう。

よく^み見れば



いう^ま間に^ま曲がる
こ^{ぶね}小舟かな



あれ^{うめ}梅と

な^{はな}ずな^さ花咲く
か^{かき}き^ね垣根かな



あ^{あか}か^{つばき} 赤い椿

しろ^{しろ} 白^{つばき}い椿と
お^お落ちにけり



モマン 3 - 13

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

あ

か

い

つ

ば

き

し

ろ

い

つ

ば

き

と

お

ち

に

け

り

河東碧梧桐
かわひがしへきごどう

モマン 3 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

よ

く

み

れば

ば

な
ず

な

は

な

さ

く

か

き

ね

か

な

松^{まつ}
尾^お
芭^ば
蕉^{しょう}

モマン 3 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

あ
れ
う
め
と

い
う
ま
に
ま
が
る

こ
ぶ
ね
か
な

こ
ば
やし
い
つ
さ
小
林
一
茶



モマン 3 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



よ	く	み	れ	ば	ち	が	さ	で
く	み	れ	か	わ	が	い	く	す
み	て	ば	る	よ	は	る	な	ね
る	お	な	ず	な	は	の	な	い
と	う	だ	ん	は	い	た	よ	な
ち	な	は	ほ	な	さ	く	か	れ
い	さ	な	ど	わ	た	か	も	し
い	さ	が	う	を	り	き	ね	か
て	い	ま	し	た	ま	す	よ	な



おわり

- 1 たいはたいでも、おなかいっぱいあんこをたべているたいはなあに？

たいやき

- 2 たいはたいでも、けがをしたときにでてくるたいはなあに？

ほうたい

- 1 たいはたいでも、おでこにいるたいはなあに？

ひたい

- 2 たいはたいでも、お父^{とう}さんの首^{くび}によくいるたいはなあに？

ネクタイ

せん
線
でむすびましょう。

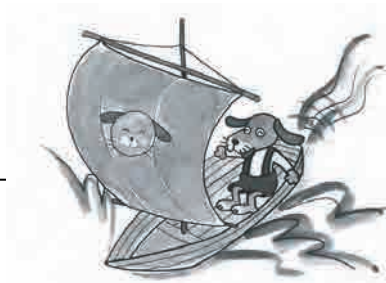
かん なん
艱難

しん く
辛苦



じゅん ふう
順風

まん ぱん
満帆



ゆ だん
油断

たい てき
大敵



モマン 3 - 20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ゆ だん たいてき
油断大敵

いっしゆん^き
一瞬の気のゆるみが
いのちと
命取り！



かん なん しん く
艱難辛苦

つら^{くる}
辛いなあ、苦しいなあ



じゆんふう まんぱん
順風満帆

いいぞいいぞ！
その調子^{ちようし}！



モマン 3-21

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かんなんしんく
艱難辛苦

ものごと じゆんちよう
物事が順調にはかどること



じゆんぷうまんぱん
順風満帆

ゆだん しっぱい
油断すると失敗することが多い



ゆだんたいてき
油断大敵

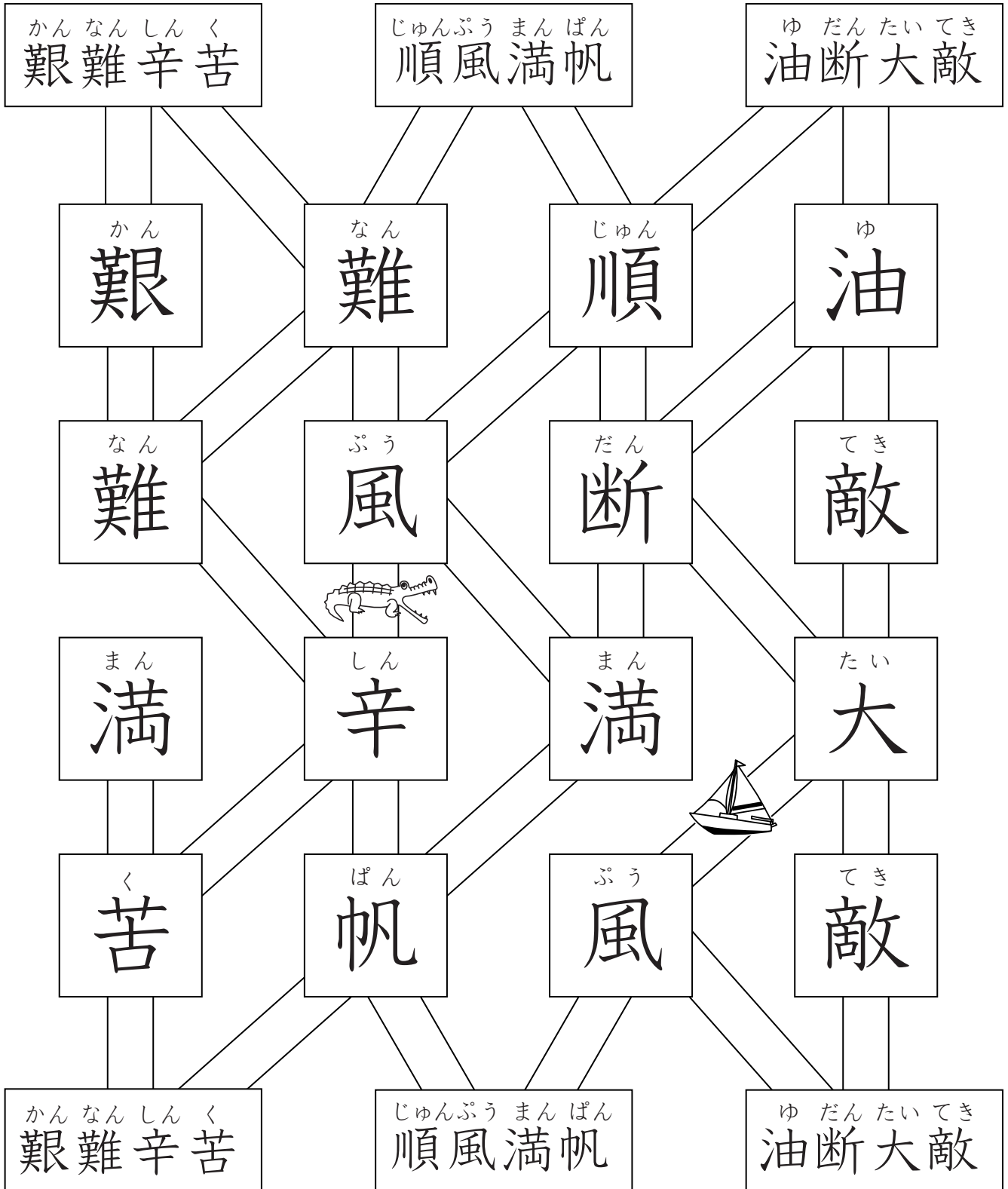
つら
辛いことであって、
なや くる
悩み苦しむこと



モマン 3 - 22

なまえ

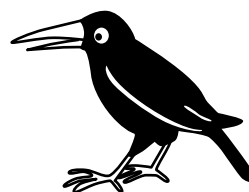
線せんでむすびましょう。



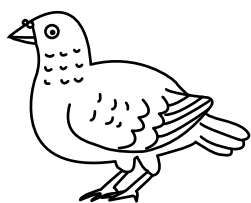
王子おうじに頼たのまれてルビーやサファイヤを運はこんで
いたのは誰だれですか？



スズメ



カラス



はと



ツバメ

両方の目を抜いて何も見えなくなってしまった
王子に、ツバメはどうしましたか。



- 1 王子をおいて、南の国へ帰っていった。
- 2 毎日、町で見たことを王子に話した。
- 3 町で宝石をひろってきて王子にあげた。



モマン 3 - 25

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ほととぎす

鳴^なきつる方^{かた}をながむれば



ただ有^{あり}明^{あけ}の

月^{つき}ぞ残^{のこ}れる



契^{ちぎ}りきな

かたみに袖^{そで}をしぼりつつ



末^{すえ}の松^{まつ}山^{やま}

波^{なみ}越^こさじとは



花^{はな}さそふ

嵐^{あらし}の庭^{にわ}の雪^{ゆき}ならで



ふりゆくものは

わが身^みなりけり



きりぎりす

鳴^なくや霜^{しも}夜^よのさむしろに



衣^{ころも}片^{かた}敷^しき

ひとりかも寝^ねむ



モマン 3 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

はな う
花さそふ
あらし にわ ゆき
嵐の庭の雪ならで

ころもかたし
衣片敷き
ひとりかも寝む

ちぎ
契りきな
かたみに袖を しばりつつ

ありあけ
ただ有明の
つき のこ
月ぞ残れる

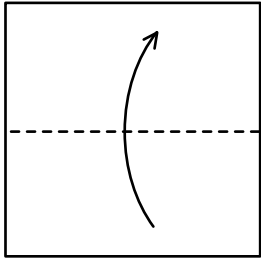
きりぎりす
な しもよ
鳴くや霜夜のさむしろに

ふりゆくものは
わが身なりけり

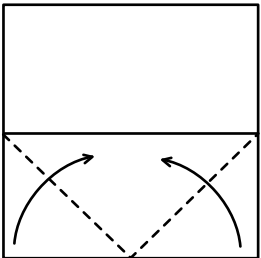
ほととぎす
な かた
鳴きつる方をながむれば

すえ まつやま
末の松山
なみ こ
波越さじとは

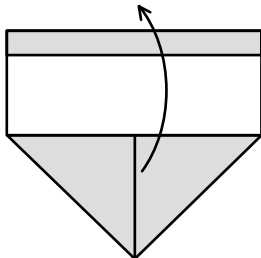
《おにんぎょう》



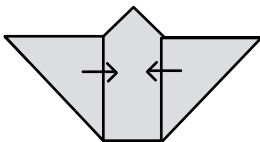
1 はんぶんにおる



3 りょうはしをおって
さんかくをつくる



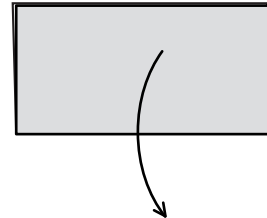
5 したのさんかくを1のおり
せんにあわせてたにおりする



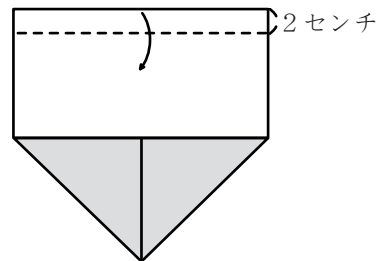
7 さんかくのうちがわのたにおりに
なっているぶぶんをやまおりにして
そとにひきだす



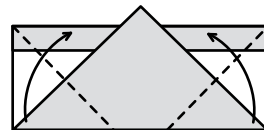
かおやきもののがらをかきましょう



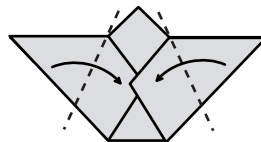
2 もとにもどす



4 2センチほどたにおりする



6 りょうはしをうえのふちに
そって、さんかくにおる



8 むかってひだりがわをさき
おってからみぎがわをおる

